



学務窓口から始める障害学生支援 —聴覚障害学生支援の具体例を中心に—

障害のある学生（診断の有無を問わず）に最初に接触するのは、種々の提出書類を受け取る学務系職員であり、実際に窓口でも頻繁に出会うことになる。したがって職員がまず気づき、配慮することが大事である。

講師は、佛教大学学生支援部にて長く、学生支援を担当するなかで、多くの障害学生の支援に携わってこられた。ろう学校出身学生など、聴覚障害学生の支援を具体例に、教員や他の職員との連携による支援事例を紹介していただく。それにもとづき、高等教育機関に求められる、全学的な障害学生支援のあり方について、参加者と共に考えていく。

コンソーシアム加盟高等教育機関教職員・学生のほか、関心をお持ちの県民の皆様にも広く参加を期待したい。

場所：しいのき迎賓館 3階 セミナールーム B

日時：平成25年2月5日(火) 18:00～19:30

※手話通訳による情報保障があります。

講師：細見 知代 佛教大学学生支援部学生支援課長

独立行政法人日本学生支援機構障害学生支援についての教職員研修プログラム開発事業検討委員会委員
(2008年～2010年)

共著「障害学生支援リテラシーの普及とFD・SDプログラム 大学・短大における学内支援体制」
『文部科学教育通信』253号(2010年10月)

当日は、大学コンソーシアム石川加盟高等教育機関に対してTV会議システムによる配信を行います。
5機関まで接続可能ですので、ご希望の機関は大学コンソーシアム石川事務局までご連絡をお願いします。

参加お申込み

「第9回FDSD研修会申込」とタイトルに記載の上、本文に
(1) 機関名、(2) 所属、(3) お名前を記載して、
MAIL: kmasataka@ucon-ijp (担当: 木井) までご送信願います。
当日参加も受け付けております。

※しいのき迎賓館の駐車場をご利用の場合は、最初の30分のみ無料となります。

問い合わせ

大学コンソーシアム石川事務局 TEL: 076-223-1633

